

2016年度 第3回

# 中京大学所蔵国書善本展示会

中京大学名古屋図書館は、2016年度の第3回国書善本展示会を下記の日程で開催します。  
普段は貴重書庫に置かれて一般には公開されていない貴重な国書です。ぜひご高覧ください。

展示場所： 中京大学名古屋図書館1階

展示期間： 9月1日(木)～9月30日(金)

## 展示作品

せんもんしょう  
1. 浅聞抄 …… 室町末期～江戸初期 21帖

「源氏物語」のあらすじ及び解説をわかりやすく記した入門書。室町中期の博学多才の学者、一条兼良の作と伝えられる。本学が所蔵するのは、第一帖「桐壺」から第二十一帖「おとめ少女」まで。



## 2. ほう蔵びく<sup>ぞう</sup> …… 江戸時代 1冊

説経節の絵入りの本。説経節は中世末から近世にかけて行われた語りの一つで、仏教の説経から発し大道芸として発達をとげ、やがて人形芝居とも提携して興業化した。「ほう蔵びく」は、阿弥陀様の由来を説く物語である。



## 3. 俳人自筆句集<sup>はいじんじひつくしゅう</sup> …… 江戸中期 1冊

芭蕉百回忌前後の句帳。蕉風俳諧の復興を志した僧で俳人の蝶夢<sup>ちょうむ</sup>が序文を記す。近江八景の眺望<sup>とうぼう</sup>について、塘雨以下、百七十人を超える詩客歌人や俳人らが、自筆で一頁に一句ずつを記す。和歌や漢詩、俳画なども描かれている。

